



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 3月 21日
つばさだより 第15号

「つばさ」での学びとは何か・・・

3月の始めに雪が降り、雨になり季節は春に向かい学年末を迎えます。各学年ではまとめの最終段階。高学年の6年生は卒業式に向けての準備が始まりました。つばさ教室では先週今年度の指導が終了しました。各ご家庭からのこれまでの指導へのご理解とご協力に感謝いたします。

先週、主に各学年の小集団指導の中で「つばさ教室」での学びについてまとめを行いました（各学年、個々に応じて内容を変更していることもあります）。自分自身についての客観的な視点や評価は概ね5年生位からと言われていますが、高学年に向けては「自分はどのようにつばさにいるのか」という視点を投げかけました。まとめの授業ではこの話の中で以下の点に絞って整理をしました。

人には誰しも「得意」と「苦手」がある。1年生で初めて学校生活が始まる中で、また、2年、3年と生活を繰り返す中で何となく自分の凸凹に気が付いたこともあると思うし、もしかしたら自分の「不安」「ドキドキ」が何か分からずに（気が付かずに）自分を守るために感情に任せた表出をしていたこともあるかもしれない。でも、そこを「相談・整理」するためにみんなは「つばさ教室」に来た。そして、今、数年のつばさでの学習を通して「～が出来るようになってきた」という変化が自分にあるのではないかな。日々の家庭生活や学校生活の中で自分が感じていることが少しずつ説明できるようになってきたのではないかな。学習で悩んでいることが自分の苦手さのどこに起因しているのか少しわかるようになってきたのではないかな。そのためにどんな考え方ややり方があるのか、探してきたのではないかな。

内容的にはまだまだ自分を客観的にとらえていく子供たちには難しいものでもありますが、子供たちは概ね自分自身に置き換えて聞き、考えていた印象を受けました。

これから6年生は中学に進学します。そして、中学のその後も学びの路は続きます。小学校の卒業は幼少期からの大きな転換でもあります。青年期へのスタートでもあります。最後に高学年の子供たちにはこんな言葉を送りました。「みんなの学びはこれからも続いていくし、ぜひ続けていってください。」

4月からは新しい在校生の子供たちの「学び」が始まります。まだまだ成長の途中で混乱の中において変化の時期にドキドキしたり不安になったりすることも続くと思います。でも大丈夫です。つばさの仲間と一緒に悩み、遊び、学んでいきましょう。成長は個々のスピードで長く続いていきます。新学期を迎えるにあたり、何かあればお気軽につばさ教室までご相談ください。

「卒業生へ」

「あの日のことは 忘れてね 幼すぎて 知らなかった 恥ずかしくて 消えたいけど
もう大丈夫 旅路は続く あの日のことは 忘れるね みんなだって さ迷っていた
この宇宙が 教室なら 隣同士 旅路は続く」

SONG BY 藤井 風「旅路」

これは藤井 風さんの「旅路」という歌の歌詞の一節です。小学校を卒業してさらに広い世界に進んでいくみんなに送りたいと思います。この先も不安や心配もあるけど、みんなの旅路はずっと続いていきます。つばさ教室で学んだことを思い出しながら自分らしく進んでいってください。

